



農研機構

「食品安全国際シンポジウム2008」

1日目: 公開講演会 「あなたの食の安全・安心を支える農研機構」

平成20年10月1日 13:00 ~ 17:00 (秋葉原: 東京)

秋葉原コンベンションホール 2F

(日本語講演 但し外国人講演には同時通訳付き。)

食品報道のウソを見破る食卓の安全学

食品の安全性を支えるために

最近の米国における食中毒発生状況 (同時通訳付)

食品の安全性を確保するための麦類赤かび病の防除

野菜・茶の安全・安心を支える技術

畜産物の安全を守るBSE研究

食中毒菌をすばやく見つける技術

トランス脂肪酸のリスクと日本人の摂取事情

野菜の消費者ニーズとトレイサビリティシステム

科学ライター 松永 和紀

内閣府 食品安全委員会事務局次長 日野 明寛

カリフォルニア大学デービス校

食品保蔵研究所 所長 Dr. Keith A. Ito

農研機構 中島 隆

農研機構 木幡 勝則

農研機構 毛利 資郎

農研機構 川本 伸一

農研機構 都築 和香子

農研機構 佐藤 和憲

☆参加希望者は1日目、2日目のご希望を明記し、下記までお申込み下さい。(参加費無料)

「フード・フォーラム・つくば事務局」高松 takama@affrc.go.jp TEL.029-838-8010, FAX029-838-8005

2日目: 研究講演会 「フードチェーンから見た食品安全研究」

平成20年10月2日 9:30 ~ 17:00 (つくば: 茨城)

つくば国際会議場 中ホール200 (英語講演 同時通訳は付きません。)

最近の米国食中毒事情とその対応

スプラウト種子の効果的殺菌技術の開発

小麦の赤かび病抵抗性の改良技術

麦類赤かび病によるかび毒汚染抑制技術の現状と今後の課題

生産から消費までを通じた食品・飼料のかび毒の管理

日本における腸管出血性大腸菌O157の分子疫学的解析

牛と大腸菌O157: H7の宿主・微生物間相互作用

調理・加工中に新たに生じる化学的有害要因, アクリルアミド

ウリ科野菜におけるPOPsリスク低減技術

カリフォルニア大学デービス校 Dr. Keith A. Ito

農研機構 Dr. Md. Latiful Bari

オーストリア IFA-Tulln大学 Dr. H. Bürstmayr

農研機構 中島 隆

タイ国農水省 Dr. Amara Chinaputhi

国立感染症研究所 寺嶋 淳

アイタホ大学 Dr. Carolyn J Hovde

農研機構 吉田 充

(独)農業環境技術研究所 大谷 卓

お問い合わせ先:
シンポジウム事務局

〒305-8642つくば市観音台2-1-12

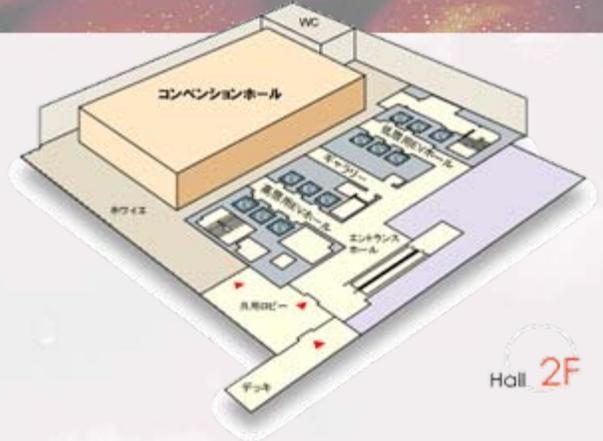
(独)農研機構 食品総合研究所(川本、西尾)

E-mail: anzen-nfri@naro.affrc.go.jp

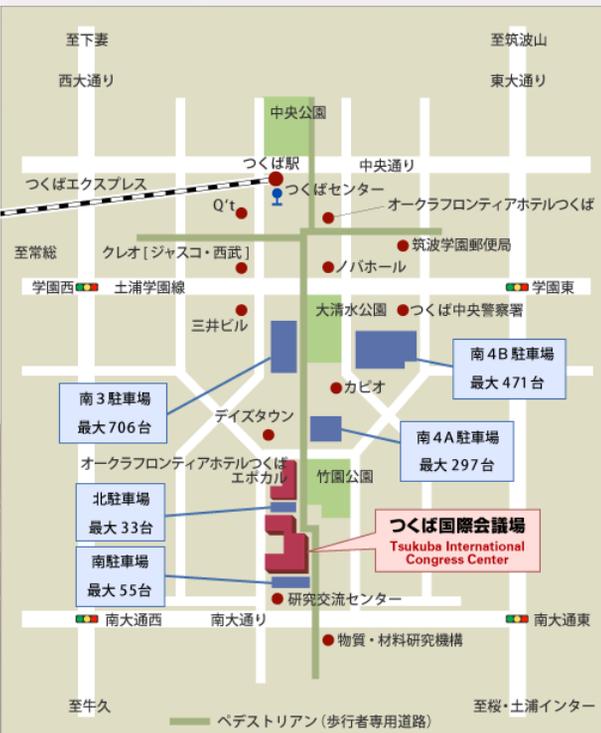
秋葉原コンベンションホール



JR秋葉原駅徒歩1分
 東京メトロ銀座線 末広町駅.....徒歩3分
 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅...徒歩4分
 つくばエクスプレス 秋葉原駅...徒歩3分



つくば国際会議場 (Epochal Tsukuba)



路線	区間	所要時間	料金
つくばエクスプレス	秋葉原駅 → つくば駅	快速 45分	(1150円)
	つくば駅 → つくば国際会議場	徒歩	10分
JRナガサキ	上野駅 → 土浦駅	常磐線(特急) 43分	(2010円)
	土浦駅 → つくば国際会議場	バス	約25分 (510円)
	上野駅 → ひたち野うしく駅	常磐線(各停) 60分	(950円)
高速バス	東京駅 → つくば号(八重洲南口発)	65分	(1150円)
	羽田空港 → つくば国際会議場	直行バス	80分 (1800円)
	成田空港 → つくば国際会議場	エアポートライナー(NATT'S)	100分 (2540円)

つくば国際会議場
 つくばセンター
 エスカレーターでベストリアンデッキ(歩行者専用道路)に昇り直進

